



きれいな海水浴場
利用のために

6月20日、高須・浜田海岸及び荒平天神付近で、「錦江湾クリーンアップ作戦・夏の部」が4年ぶりに実施されました。これは錦江湾の自然環境の保全に関する市民意識の向上を図り、美しい海岸線を未来に引き継いでいくため行われているもの。当日は地元町内会や第一鹿屋中学校の生徒など約500人が参加し、7月の海開きに向け海岸を清掃しました。



より身近な避難所と
して公民館等を活用

7月1日、市役所で「鹿屋市届出避難所登録通知書交付式」が行われました。これは令和2年7月豪雨災害を踏まえて、町内会が自治公民館や企業の施設を避難所として活用する制度。今回13町内会の計15か所が届出避難所として登録されたことで、今後より身近で避難しやすい避難場所の確保が可能となりました。



雨の中、田植えに
挑戦

6月16日、下高隈町上別府の棚田で、幼稚園児による田植え体験がありました。これは、子どもたちに「食」と「農」の大切さを感じてもらうために上別府湧水友の会が毎年実施しているもの。当日は星幼稚園の園児64人が参加し、雨の降る中泥にまみれながら楽しそうに田植えに挑戦する姿が見られました。



観光農園でブルーベ
リー狩りを楽しむ

6月16日、東原町にあるブルーベリー観光農園ワダで開園式が行われました。当日は、ひばり保育園の園児も参加し、80aの広大な畑に実った完熟のブルーベリー狩りを楽しんでいました。「今年は実が大きく甘さも充分。コロナ下ですが、ぜひ遊びに来てほしい」と話す和田さん。同園は、8月上旬まで開園しています。



ソフトで県予選を
突破。西日本大会へ

7月1日、西原台ソフトボールスポーツ少年団の選手と関係者22人が市役所を訪れました。同少年団は、5月に「全日本・西日本・全九州小学生ソフトボール大会県予選」で準優勝し、7月に山口県で行われる、西日本大会に出場予定。キャプテンの白川悠真選手（6年）は「1勝でも多く勝てるよう頑張りたいです」と大会に向けた抱負を語りました。



卓球の県予選で
優秀な成績を収める

6月25日、卓球クラブチーム「NEXT GEAR鹿屋島」の選手と関係者が市役所を訪れました。これは5月に行われた「全農杯2021年全日本卓球選手権大会鹿屋島県予選」において、同チームの小原大夢選手（4年）が優勝、田尾花佳選手（6年）が準優勝したことによるもの。2人は「7月に兵庫県で開催される全国大会で優秀な成績を残したい」と抱負を語りました。



本格的な体験で選挙
への関心を深める

6月17日、串良小学校で選挙の出前授業が行われました。これは選挙権がない年齢のうちから選挙に関心を持ってもらおうと学校の企画により行われたもの。参加した6年生39人は、選挙について学んだ後、県知事選挙を想定した模擬選挙を体験。実際の選挙のように受付や投票が行われ、参加した児童の興奮する声が飛び交いました。



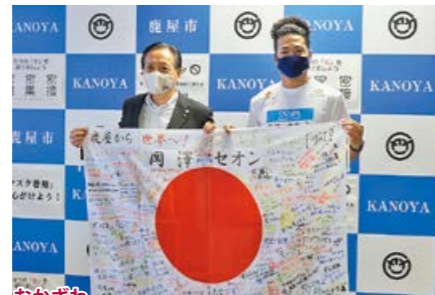
福島県駒ヶ嶺小との
交流授業

6月15日、リモート会議システムを使用した福島県新地町立駒ヶ嶺小学校との交流事業が、田崎小学校で実施されました。これは、県の人事交流事業により2年前に福島県から赴任した加藤文彦先生が企画したものの。両校の児童はそれぞれ自分の県や市、学校のことを紹介しながら、1,000km以上離れた地との交流を楽しんでいました。



犯罪や非行のない
明るい社会を目指して

7月1日、市役所で「第71回社会を明るくする運動」のメッセージ伝達式が行われました。7月の1か月間行われる同運動の開始にあたり、内閣総理大臣と県知事からのメッセージが市へ伝達されました。



岡澤セオン選手へ激励金
金メダル取得へ意欲

6月29日、東京2020オリンピックに出場する岡澤セオン選手に激励金や寄せ書きなどが渡されました。岡澤選手は「自分のボクシングで金メダルを目指したい」と力強い口調で語りました。



市内5例目。地域の助け
合いの輪を広げて

7月11日、大浦町で「大浦お助け隊」が発足しました。同団体は町内会が主体となり、ごみ出しや掃除などのお手伝いを行う有償ボランティアグループ。助け合いの気持ちで活動を行っていきます。



訪問を通して
地域の人々を見守る

6月27日、横山集落センターで「横山町女性見守り隊」の活動報告会が行われました。令和3年3月に発足し有志15人が所属する同団体は、主に1人暮らしの高齢者見守りを中心に活動しています。



田崎みどりの広場の
ボランティア清掃

6月10日、田崎みどりの広場で鹿児島県板金塗装工業協同組合による遊歩道の清掃ボランティアが行われました。この日は鹿屋青年部の8社10人が参加し、手作業で丁寧に土砂等を洗い流しました。



ほたる祭り復活10年を
記念し、マスク制作

6月10日、平南校区公民館で「ひらばうほたるの里オリジナルマスク」の贈呈式が行われました。地元企業の株式会社農栄の協賛により平南町内会約210戸へオリジナルマスクが配布されました。